第2333回　(2016.9.21（水）くもり　NO.1713)

Yonago East Weekly

●創立／1968年4月24日　●事務所／米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 TEL(0859)32-5531
●例会日／水曜日12:30～13:30　●例会場／米子全日空ホテル 米子市久米町53-2 TEL(0859)36-1111
●会長／岩崎　浩　●幹事／上森英史　●会報／多林美智子

会員数 101名 （正会員 100名 名誉会員 1名）

ビジター

メーキャップ

長谷川(渉)君、岩﨑君、髙田(剛)君(9/15 5RC野球リーグ審判) 楠君(9/21大阪そねざきRC) 大野君(9/21 E-Club Sunrise of Japan)舩田君、林君、今出君、井上(賢)君、石井君、岩﨑(稔)君、岩崎(浩)会長、木田君、黒見君、松浪君、宮本君、宮永君、永見君、長棟君、中田君、中村君、尾沢君、佐田山君、種田君、髙田(剛)君、戸田君、植田君、上森幹事(9/22第2グループ親睦ゴルフ大会) 岩崎会長、上森幹事(9/23第2グループ会長幹事懇談会 米子全日空ホテル) 古杉君(9/24インターアクト島根県ブロック協議会 ニューウェルシティ出雲) 足立(耕)君、池口君、木美君、楠君、小椋(理)君、塩谷君、杉原(弘)君、杉原(秀)君、岡君、田淵君、戸田君、内田君、山上君(9/26米子南RC) 林君、井上(賢)君、岩﨑(稔)君、木田君、宮地君、宮本君、宮永君、永島(正)君、西村(正)君、西澤君、髙田(剛)君、上森幹事(9/27 5RC野球リーグ)

今週のお祝い

夫人誕生祝 ： 1日 古杉 淳 君 7日 内田良一君 12日 長棟信泰 君 19日 細田耕治 君 21日 宮本 守 君 23日 岩岡三男君

結婚記念日祝 ：11日 西村 偉 君 13日 松浦啓介 君 19日 松浪昭二 君 23日 小田浩一 君 26日 足立 慶 君

スマイルBOX

夫人誕生祝:岩岡君、片岡君、小林君、古杉君、宮本君、長棟君、内田君 結婚記念日祝: 松浪君、松浦君、西村(偉)君、小田君 本人誕生祝:梅田君 創立記念日祝:片岡君 朝日町にBarを開店致しました。よろしくお願い致します。:西村(偉)君 甲子園での対戦を機に今後とも友好を育みたいと思います。＆甲子園球場で対戦させて頂きありがとうございます。:大阪御堂筋本町RC会長 坂中良郎様＆野球同好会一同

会長挨拶

1962年 世界で最初のIAC(インターアクトクラブ)がアメリカで結成されました。その7年後に米子東RCがスポンサーになり米子松蔭IACを結成しました。創立1年目にしてというのは、永島正道会員のお父様であります、故永島武先輩のご尽力によるものが大であります。生徒たちに奉仕活動に取り組ませたい、奉仕の輪を学校全体に広げたいという思いは、50年近く、米子松蔭IACに引き継がれています。

2690地区にIACは17校、鳥取県には3校あります。IACはRCにより提唱された12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブであり、学校や地域社会のための活動と、国際理解を目指す活動を行います。それに対して米子東RCは支援を行う必要があります。一緒に活動する、指導する、活動を広報する、共に学ぶ、関係を強化する、などです。

来年の7月に大山で1泊2日でIACの地区大会を米子松蔭IACがホストとなって開催します。米子東RCはIAC提唱ロータリーのホストになります。会場および宿泊の手配、来賓の案内、生徒の移動手段計画、式典、ロータリアン懇親会の設営、予算管理など、支援を行います。本年度から少しずつ準備に入ります。具体的な動員計画は年明けになろうかと思いますが全員で支援する必要がありますので、よろしくお願いいたします。

幹事報告

1. 新入会員 内田良一君入会
2. 米子松蔭IAC 宮脇一成様へガバナー表彰状
3. 大阪御堂筋本町RC、京都伏見RC、京都南RC バナー交換
4. PHF表彰
   永島清孝 君 (2回目)
   足立博俊君(1回目)・吉岡朋美君(2回目)欠席
5. 9/17 鳥取県ブロック協議会(倉吉シティホテル)
   古杉君、楠君出席
6. 5RC合同会員名簿配布
7. 10/16大山秋の一斉清掃のご案内
8. 当クラブホームページ モバイル対応も稼働
9. 例会変更のお知らせ
   境港RC 10/4(火)夕刻例会 ビジター受付あり 他

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

りょういち
9/21　内田　良一　君入会

(株)ウチダレック
代表取締役社長
米子市米原5-5-17
TEL　33-4748
FAX　34-7528

永島清孝　君　PHF2回目表彰

＜プログラム＞　米子松蔭高等学校インターアクトクラブ活動報告

1. 地区大会　（郷原百夏）

最初に、インターアクト地区大会について発表します。

7月23・24日に出雲市で行われたインターアクト地区大会に参加しました。地区大会は、鳥取・島根・岡山のインターアクトクラブのある学校が集まって交流や情報交換をする大会です。今年は17校から90人が集まりました。

1日目は出雲大社へ正式参拝へ行ったあと、出雲大社周辺の散策をしました。出雲大社の正式参拝は初めてだったので、いい体験をすることができました。夜は交流会に参加しました。いろんなゲームをしたり、プレゼント交換をして交流を楽しみました。他校の人と協力してゲームをすることができたのでよかったです。

2日目は主に班別で会議をしていました。そこでそれぞれの学校での活動を互いに発表し合いました。海外の子どもたちと交流したり、貧しい国にものを寄付している学校もあって驚きました。また、会議の終わりにはロータリーの方から活動についてアドバイスをいただきました。高齢者の方と話すときは、相手の目線になるなどのちょっとした気遣いをしよう、とか、インターアクトがどんな部活か知らない人が多いので、活動内容を分かりやすく伝えて広めよう、と助言してもらいました。この会議を通して、地域の方や全校生徒にもっとインターアクトの名前を知ってもらえるように、努力し、これからの活動をよりよいものにしていきたいです。

来年の地区大会は、松蔭がホスト校になっています。今回の地区大会のホスト校だった出雲北陵高校さんが、とてもスムーズに大会を進めておられたので、私たちもそれを目標に、来年の地区大会に臨みたいと思います。

2. ゆうゆう壱番館　（宮脇一成）

次に、ゆうゆう壱番館での活動報告をします。

私たちインターアクト部は月に一度、ゆうゆう壱番館におじゃまして、利用者さんとの交流会を行っています。毎月欠かさず行っていることは、生徒の伴奏に合わせての全員合唱です。

合唱は、季節に合った楽曲であること、そして何より利用者さんにとってなじみがあり、歌いやすい曲調であることを最優先に考慮して、曲選びをしています。例えば、7月は「たなばたさま」、今月の10日に行った交流会では「赤とんぼ」や「どんぐりころころ」を合唱しました。大きな声で歌う方もいらっしゃれば、リズムを取るだけの方もあり、いずれにしても利用者さんの喜ぶ顔は、私たちにとって今後の活動の糧となっています。

他にも、5月は手製の鯉のぼり、6月はてるてる坊主作りなど、その月にしかできない遊びを考えて、実際にそのサポートをしています。

私たちが利用者の方々と接するときに、気をつけている点は3つあります。

1つ目は、使用する資料や名札に書いてある文字を、高齢者の方に見えやすいように、大きく濃くすることです。

2つ目は、ゲームのルールを説明するときに、できるだけ大きな声ではっきりと内容が伝わるように話すことです。

3つ目は、もしルールがうまく伝わらず、困る利用者さんがいたときのために、各テーブルに部員がひとりつき、補助員としてサポートにまわることです。利用者さんの中には、声をかけても返答がないかたもいらっしゃるので、交流会の中ではそこが最も難しい問題だと思うし、また部員全員が乗り越えなければならない大きな壁であると痛感させられます。

これからも、少しでも多くの方に楽しんでいただけるように、部員一同最善を尽くします。

3. 皆生トライアスロンボランティア （平塚祐衣）

次に、皆生トライアスロンでのボランティア活動について報告します。

私たちインターアクト部は、皆生トライアスロンでボランティアをしました。この大会は、皆生温泉海岸をスイムでスタートし、大山山麓道路をバイクでまわり、東山公園を皆生からランで目指すというコースで行われます。

私たちの仕事は、食べ物配り、氷の袋詰め、選手の方たちが走りやすいように道路の整備、選手の方に「頑張って」などの声援を送ったりしました。ドリンクにはコーラ、スポーツドリンク、OS1、水、食べ物にはスイカ、パンなど多くの種類があり、運営側の選手への配慮が感じられました。この場所ではどんな飲み物があるのかを選手に簡単に説明し、素早く求められている飲み物を渡せるようにしました。

最高気温が31.4℃と、炎天下での仕事でしたが、この暑さの中でも頑張っている選手の方たちやほかのスタッフの方たちの姿を見ていたら、自分も頑張ろうと思いました。

このボランティアを通して、多くの方の「ありがとう」が何より嬉しかったです。これからもだれかに「ありがとう」と言ってもらえるような活動をしていきたいです。

4. 清掃活動 （福田　茜）

次に、清掃活動について説明します。

私たちは月に一度、伯耆大山駅の清掃と、学校周辺のゴミ拾いをしています。また、年に一度、日野川の河川敷の清掃をします。

駅清掃では、学校から駅までみんなで歩いて行く途中も、道路や溝に落ちているゴミを拾います。駅に着くと、駅員の方にあいさつをして、自転車置き場や跨線橋、待合室などをほうきで掃いたり、火ばさみでゴミを拾ったりします。跨線橋ではクモの巣や砂、自転車置き場では壊れた自転車の鍵などがありました。クモの巣を取るときに背が届かなかったり、床にガムがこびりついていたりして取るのが大変でした。

学校の周りのゴミ拾いでは、草むらの中に空き缶や紙コップ、お菓子の箱などがたくさんありました。大きな段ボールや洗剤の容器なども川や溝に落ちていて、ゴミ袋があっという間にいっぱいになりました。

日野川の清掃では、みんなで河川敷まで歩いて行って、2つのグループに分かれて、右岸と左岸の土手沿いのゴミを拾いました。思ったより、ゴミがたくさんありました。清掃で出たゴミは、学校に持って帰り燃えるゴミと燃えないゴミに分別します。

駅清掃と学校周りの清掃を通して、ゴミのポイ捨ては、してはいけないことだと改めて思いました。ゴミは落ちていないように見えても、見えないところにたくさんあり、拾うのが大変なこともありました。拾っているときに、先生や地域の方が、「ありがとう」や「頑張ってるね」など声をかけてくださり、頑張ってきれいにしようと思いました。きれいになって終わったあとは、とてもやりがいを感じ、嬉しく思います。

5. インターアクトバザー （郷原綺夏）

最後に、インターアクトバザーについて報告します。

11月6日に松蔭高校の文化祭がありました。その中で私たちはバザーを行いました。バザーの商品は、ロータリークラブの皆様や、自分たちが持って来た品物です。ご協力、ありがとうございました。日用品・かばん、文房具やタオルなどの雑貨が集まりました。それを種類別に分けて机に並べ、それぞれ値段をつけて生徒、保護者や先生方に売りました。

この活動を通して、お客さんに商品を売ることの難しさや、どのようにしたら商品が売れるのかなどを考えたり知ったりできたので、とてもいい体験ができたと思います。売上金は、1万5,983円でした。このお金を使って、新しいユニフォームを作りました。

また、私たちにも何か貢献できることはないのかと考え、ふかし芋の無料配布と募金活動を行いました。サツマイモは、先輩のお母さんと家庭科の先生から無料でいただきました。メイプルシロップと黒ごまを使った、大学芋風がいちばんおいしかったです。募金は、1，545円集まり、全額ユニセフに寄付をしました。学校内で募金活動をするのは初めてだったので、ドキドキしましたが、募金をしてくださる一人ひとりのお客さんの姿を見て、心が温まり、とても嬉しかったです。

毎年、品物を提供してくださってありがとうございます。今年は11月11日金曜日にバザーをします。今年もご協力よろしくお願いします。

次回プログラム

10/5	米子市議会議長放談	尾沢三夫　会員
	「私の職業」	内田良一　会員